

彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設に係る
説明会概要（秦荘東学区）

日 時	令和元年 6 月 8 日（土）午後 19 時 30 分～午後 21 時 00 分	
場 所	ハーティーセンター秦荘 中ホール	
参 加 者	111 名	
	秦荘東学区	97 名（男性 88 名、女性 9 名）
	彦根愛知犬上広域行政組合	大久保管理者（彦根市長） 有村副管理者（有村町長）
	事務局	神細工事務局長、建設推進室（杉山室長、大久保室長補佐、宮川主幹、山本主幹、宮寄主任）、総務課（高橋課長補佐、荒木主任）
	愛荘町	くらし安全課 羽田課長
	コンサル業者	パシフィックコンサルタンツ株式会社 大阪本社 資源循環室（枝澤副室長、山崎技師） 地域創造室（有田副室長）
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大久保管理者 3 内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 資料に基づき説明（これまでの経緯、施設の概要について） (2) 質疑応答 	

挨拶	
(事務局)	(あいさつ・出席者紹介)
(管理者)	(あいさつ)
(住民1)	いやちょっと待って。基本というのはわかるけれども、前日も言ったと思うけど、彦根はみんな学校、地域が近い。ここを見て。1km ぐらいなんです、近いところ、みんな。僕もPTA の会長、保育園から小学校、中学校してきている。何でしてきたか。子どもが大事だから。愛荘町の町長も議員さんもみんな言うわけです。子どもは愛荘町の宝やということで、立候補するときにも演説の中でもよう聞いてきた。今アクセスの問題を言われたけれども、アクセス、環境なんや。それがあの高い竹原のあの高地に作って、愛荘町周辺からみんな見える。ごみ処理施設は確かに必要です。必要でも、やっぱり少し施設が見える。どこに行ったら見えない山の中。そういう山の中に作ってほしい。するということをしてもらわんと。この施設のどうたらこうたらという問題はこの前の話。竹原も一緒にいいと言うとるんや。
(住民2)	議事次第に従って進めてください。
(住民1)	これをぶっ壊すのか。自分の代はいいけれども、孫の代……。

(住民3) 冷静になろう、冷静に。
 (住民1) 冷静や。こういうことを考えな。
 (事務局) ご主人のおっしゃること、前回もお聞きしておりますけれども、今回ほかの候補地のところについてもどういった施設が建てられるかということをお聞きいただいて、それに対する懸念事項ということでご意見をいただいておりますので、一度我々の説明を聞いていただいでご意見を頂戴できたらと思います。一度お話はさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

資料に基づき説明

(住民4) あんたな、書いてあること、煙突が下からと言うたな。
 (事務局) 煙突の上から出る数値……。
 (住民4) そうやろ。下の100m、1km、4km、風がうちまで、東風、北風、南、こういうデータはどうするの？
 (事務局) その辺はまたこれから環境アセスを最終的に決まったところではさせていただくという形になりますので、十分それは。
 (住民4) 遅いがな。それを心配して言うてんがな。
 (住民) 泥棒なんや。泥棒……みたいな物の言い方するな。
 (事務局) 煙突のほうも高くすることによって大気に拡散されることになりますので、
 (住民4) 煙突が倒れてきよるの計算したのか。
 (事務局) その辺はちゃんと計算は、環境アセスを今後最終的に1カ所に決まったところではさせていただきますので。
 (事務局) また説明をさせていただきますので。
 (住民) 説明は要らん。
 (事務局) またお聞きいただいてから。また説明させていただいて、質問をいただきますので。
 (住民) 愛荘町長、あんた、ここに割ってきている件でな、どうするんよ。
 (住民) もうやめとけえ。

質疑応答

(事務局) それでは、今ほどの事務局からの説明、また冒頭の管理者からの報告を含めまして、ただいまから質疑応答のお時間とさせていただきます。
 なお、2点お願いがございます。1点目でございますが、ご質問いただく際は、お名前は結構ですので、自治会名だけでも教えていただけますようお願いいたします。それぞれの自治会の皆様がどのような点を気にされているかというのを今後の対応の参考にさせていただきますと考えております。
 続きまして2点目でございます。本日はなるべくたくさんの方からのご意見、ご質問を頂戴したく存じます。ですので、できましたら一問一答のような形で簡潔にご質問いただきますようお願いいたします。
 それでは、係員がマイクを渡しに参りますので、ご意見、ご質問のある方は挙手をお願いいたします。
 (住民1) 松尾寺です。有村町長さんはどのように考えていますか。今議員さんは推進せやんで。何であんな。それで、選挙のときは、さっきも言うたように、子どもさんが大事やと。みんなそう言う。これが学校の近くにできる。

さっきのダイオキシンという話、それから騒音。騒音はちょっと間違えている。僕は 40 年ぐらい前に聞いたのは、基準はさっき 45dB だと。この当時、40 やった。その 40 の音を竹原地区の人は知ってはる。こんなやで。40 年前はある機械に、測定器に砂を落とす。これを基準として、それ以上高かったら……40dB でも、紡績会社で言うとかかなりの音がするんです。そういうことをしっかり覚えておかんと、さっきのダイオキシンやらいろんなことを言うたるけれども、ごまかしなんです。それが、問題が起こったときにはもう遅いです。これが 1 年、2 年で終わる事業やない。何十年も続く事業。

ごみも必要や。処理するのは必要や。けれども、ただごみが出たというだけで、処理するということを中心に置くんやなしに、ごみをどうして減らしていくか。今プラスチックの問題も、たったあんな小さいストローでも既に考えている。これは日本全国どこでも、世界中で考えている。そういう努力も全くしないで、ただごみ処理場を作ればいい。これは町長さんに言っているんですよ。それだけの費用を使うのだったら、この愛荘町の職員の給料の低さ、そっちへ回してやってください。県内でも底辺のほうや。そういうことを考えて無駄なお金を使わないようにして。そんなことで、その辺の町長さんの考えというのを聞きたいんだけど、有村さん、どうですか。

(副管理者) どうもお疲れさまでございます。私が就任する前からずっとつながっている話ではありますがすけれども、基本的には私がどのように思っているかということは大体皆さん存じ上げていただいているのかなというふうには考えております。

(住民) わかりません。わからん。はっきり言わな。

(副管理者) その中で、今彦愛犬で動いている部分が当然でございますね。選挙の背景というところ、私が去年当選させていただいている部分も含めて、このあたりは彦愛犬のそれぞれの首長さん、管理者並びに副管理者、その方々皆さんは支持された方々が多くいらっしゃる中で、その方々がどういう思いで、それが今にどのようにつながっていることは十分把握をいただいているというところもでございます。

管理者会の中において、私が 1 つ気をつけている部分があるのですが、仮に愛荘町がこういうようなスタンスで、私がこのことに関してこうだということを申し上げることは、恐らく易いのだろうとは思っておるのですが、ただ彦愛犬全体としてこのごみ処理問題には対処しなければいけないというところもあるので、管理者会の中においては私のスタンスはというのは、明確には実は申し上げているというところはあります。

また 1 点、大きな要素としてありますのが、全部で今 19 名広域の議会があります。この中で彦根が 10 名出していらっしゃる。その次に多いのが愛荘町が 3 名、それ以外の 3 町は 2 名ずつです。10 と 3 と 2、2、2 の 6 で全部で 19 なのですが、今回の竹原を建設候補地というふうにこの間までなっておりましたけれども、これを仮に建設地にする場合は議会の議決案件になっております。その点では、仮に私がこれをどうしてもこのようにしてほしいということをお願いしたところで、実際のところはその大半を握っていらっしゃる彦根の議会の方々の投票行動によるところが非常に大きい、というのが今広域の議会の現実なんですね。彦根の方々がどのように投票行動をされるか、それによってかなり左右をされるというところもでございます。

私が、仮にこの施設、どうしても愛荘町に来てほしいというふうに申し上げたところで、実際には議決で来ないです。どうしても要らないんですと申し上げたところで、結局彦根

の方々はどちらかというと彦根でやりたいというふうに思っている議員さんが大変多いという状況もございます。甲良でも今回全体で否決をされていらっしゃるという、竹原というのは白紙にするべきだということで議決をされていらっしゃるという背景もございました。

私も代表とさせていただき立場をお預かりさせていただいておりますが、私が公の場でそれを明確にこのようにということをお願いすることが、実際としてはこれからも彦根であったり、多賀、豊郷、甲良の皆さんとおつき合いをしていくときに、愛荘町は非常にづらい状況かもしれませんが、愛荘町だけがこれだというふうに言ったところが、それ以外の分野でもおつき合いをしていかなければいけないものですから。

(住民) それでわかるか、町民のあれが。

(住民) 町長の意見も聞いたってえな。

(副管理者) ありがとうございます。そういう点で私も長い愛荘町のこれから歩いていく歴史のことを考えますと、なかなかこのことに関して私が仮に反対だということをお願いするのが愛荘町の得にならない部分もあるであろうと。そして、先ほども申し上げましたとおり、この彦愛犬の広域の議会においては、大半を握っていらっしゃるの彦根でもございます。愛荘町が3名しか出していないところで、10名彦根から出ていらっしゃるという状況がございます。

(住民) どっちですもん、町長は。

(副管理者) 1点、こちらに今いてくださるのは、竹原の、私にとってすごく大事な竹原の皆さんもいてくださる。そしてまた近隣の方々もいてくださる。どちらも大事な愛荘の皆さんなんです。ただ、私が投票の選挙のときに大きなお力をいただいていたのがどなた様だということは、私含め、また近隣の関係者の皆さんもよくわかっていらっしゃいます。そして私が全体としてこの土地に住んでいらっしゃる皆さんがお力を発揮できる部分、お力を持っていらっしゃるところは何かと申しますと、いろいろな物事を決めていくのは誰かトップの人間だけが決められるものではないんですね。やはり議会で決めていくというのは民主主義だと思っています。

そんな点では、皆さんおつき合いのあるそれぞれの議会の方々も広域にも愛荘町から出ておられます。その方々の投票行動というのは大きな影響を持ってきます。これは町内はもとよりです。町内から出ていらっしゃる3名はもちろんですけれども、近隣の旧郡の方々がいらっしゃいますね。こういう方々にも、もちろん皆さんご縁をお持ちだと思います。そんな点では、今私がこれをどうしても要らない、どうしても来てほしいと言ったところで、実際には動いていかないという面もあるんですね。やはり議会で決められることでございますから、これが民主主義でありますので。私としては、これまでこれを賛成だ、反対だと言うことのほうが、もしかしたら楽なのかもしれないのですが、なかなかそれをすることが愛荘町の将来にとってプラスにならないというふうに考えています。

(住民4) どこで表明するの？ 反対……。

(副管理者) そうですね、いつかそういうシーンが来るのかもしれませんが、今回はそれぞれ4候補地というふうにまた再び手を挙げられたところに対して同様なお話をすることが行政マンとしては、どうしてもそのステップを民主的に取っていかなければいけないということも私は理解しています。まず先ほどのことに関しましてはありがとうございます。

す。一遍マイクを置きます。

(住民7) 岩倉の者です。よろしくお願いします。

大久保管理者にお伺いしたいのですが、うちの我が岩倉の区は竹原地区とは隣接しておりまして、ごみ建設地の地図を見ていただいてももろに影響があるところの当事者であると思っております。そして、先月の字の町会で住民みんながやはり反対だというふうに意思表示をさせてもらいました。それで、例えばそういうところでの意思表示というのは用地を設定するためにどのぐらいの重みがあるのか。私らは、例えば何点、何点、何点と土地を選定されているのがあったじゃないですか。それのどのぐらいの重みなのかというのが、ちょっと感覚的なものも教えていただきたいと思います。

(管理者) 重要な要素だと思っています。ただ、4つの候補地すべて近隣の自治会の皆さんはさまざまな思いを持っておられるということも承っております。そうした中で、皆様方から聞かせていただくいろいろな具体的な懸念の内容等々私どもがしっかり受け止めさせていただいて、対応ができるかどうかということも含め、検討させていただきたいと思っております。

(住民8) 彦根市の●●です。この間からずっと旭森、鳥居本、聞いてきたのですが、今回初めて愛荘町に来たのですが、愛荘町の説明資料を見たとき、もうあたかも愛荘町に決まったかのようないろいろな設計図であるとかそういうのが書いてあって、一応全部候補地と言っはいるのですが、愛荘町に決まったかのような資料を作成されているのですが、これがすごく不信感を持ちます。

一応候補地云々で5つの候補地が挙げたと言いますけれども、この間、鳥居本の説明会で市長は土地収用のコスト面で一番安い。資料で言うと1億8000万、約2億ですよ。市長の前の話で言いますと、いわゆる1位の下西川の場合は軟弱地盤であって土地改良が必要であると。約10億円以上必要であると。土地収用に関して9億円ですから約20億円かかる。竹原は2億円であるからコストが安いというのであれば、18億円の差額があるということを考えれば、今断固反対と言われている人たち、地区に対して、隣接地と同じぐらいの3億円の振興策、それを例えば出したところで、もし5カ所の自治会に出しても3×5で15億円ですよ。ということ考えると、1位の下西川に建てるよりもはるかに安いわけじゃないですか。それは検討するというよりも、来週にでも委員会を設置して、そこでお金を出す検討でなくて、もう決めますというようにしてくれれば。まだこちらのほかにも、もしかしたら振興策をつけてくれるのならばいい方向に持っていこうじゃないかという話が出てきておかしくないと思うんです。

例えばさっき愛荘町長が言われましたが、僕も今回この問題が起きたことによってリバーセンターを見に行きました。また燃えるごみの愛知消防の事務所に行きました。今愛荘町は、燃えるごみも燃えないごみも、全部東近江市のほうにお願いをして処理していただいているわけじゃないですか。そのことを考えると、愛荘町としても10年間、東近江市に負担をかけて自分たちの環境を処理してもらっているということを考えれば、愛荘町内にごみ処理場を持ってきてもという思いがある方がいるかもしれない。そういうようにいろいろ考えたときに、お金の振興策に関しても、今この場で検討するといまだに言うのではなくて、前向きに考えて、来週にでも委員を招集して、臨時招集を凶って、要するに例えば下西川だと20億かかる。でも竹原だったら2億しかかからない。18億円ある

のだったら、その差額を考えたときに、その差額分があるならば、それで3億、5カ所、15億で、それでみんなでやりましようとしたほうが、まだそういう振興策でできるのではないかと思うのですが。

そのことを考えた場合、でもはっきり言って今回説明を見た限りで行くならば、鳥居本や旭森の説明のときは白紙に戻して、要するにスタートラインと言っておきながら、今回愛荘町の説明会に来てこの資料を見た感じで行くと、設計図もでき上がっていて、あたかも竹原に決まったような説明資料なので、それを見たときにすごくおかしいなと思ったのですが。そういうことを考えてはどうなのでしょう。

(住民1) 今、東近江市と言われたやろう。これは以前は湖東町、愛荘町、合同なんです。その代わりこの4月から東近江市は、燃えるごみは日野町で、燃えないごみは能登川町にいつている。今燃えるごみに関しては、要するに愛荘と犬上3町がリバースセンターに行つて、燃えないごみに関しては、犬上3町は独自に処理しているわけです。

(管理者) 前段のところだけご説明させていただきますが、今日確かに私も見せていただいて、位置図等々書かれています。これは基本計画の中で出されたものです。一旦竹原区が候補地として選定をされて基本計画を作りました。その中で出てきたものということですので、先行していることは事実です。ただ、今は平等に手続きを踏んで選定をしていこうということでございます。

後段の部分は答えはさせていただかないということにさせていただきます。

(住民8) 蚊野の●●です。実はこの会が始まる前に周辺の6つの自治会で意見書をお渡しをいたしました。6つの自治会は今言われました交付金が出る出ないに関わらず断固反対。それは昨年いろいろなところで意見を言わせていただいた。アンケートにも詳しく書いてあるはずですが。また彦根市の議会、それから甲良町の町議会においても反対表明がされた。その内容を見てみますと、彦根市の議会の反対の意見書では、周辺6つの自治区より反対表明がなされている。また運搬経費が大変高い。コストがかかる。それから、新たに発見された断層地帯である。そういうことが書かれています。甲良町の議会の反対意見書では農業、自然環境への悪影響、景観、学校・保育施設との近距離、それからごみ運搬が非常に遠い。それに対するリスクが町のほうに来る可能性もある、そういうこと。

こういうことから含めて、広域化ということを含めてもう一度抜本的に見直さなければいけない。竹原候補地は白紙に戻すべきだといういづれも意見です。

これを見る限り、竹原候補地はノーだという意思表示がはっきりなされています。にもかかわらず今回また再度選定に挙がっている。候補地に挙がっている。それについて非常に大きな憤りを感じます。

先ほど説明された内容についてはありきたり、また中継基地についての新設の道路についてもタラレバの話です。何も決定されていることではない。そのような中であたかも進めるという形で話をされるのはやはりおかしいと思います。周辺6つの自治会、どのようなことがあろうと、交付金のことに関係なく、断固反対ということで表明をいたします。

(住民9) 大久保管理者、懸念があったらこの場で言うてくれという話ですが、今までから何回もこのようにして話を聞いていますやろう。我々は断固反対と言うてるのは、小学校が近い、幼稚園が近い、これ、何か解決しましたか。何をもちここに厚かましく出てきているんや。文句あったら言うてみい。

- (管理者) 文句はございませんけども、搬入道路に関しまして、先ほどご説明させていただいた……。
- (住民) タラレバの話や。
- (管理者) もしもここが候補地になったら搬入道路をこうさせてもらいますということを申し上げた。さらには、それでは無理や、そんなぐらいの対応ではあかんと、こうおっしゃっていただくのならもっとさらにいろいろ検討をさせていただこうということでございますので、率直にいろいろなお意見を出していただいて、私ども受け止めさせていただいて検討してまいりますので、ご意見をお願いしたいと思います。
- (住民9) 先ほど蚊野の方が周辺6集落が反対やと言うてる。それでも無理やり進めようとしてはるわけですか。その住民の話は聞き入れられないということですか。
- (管理者) しっかりお伺いさせていただいて、解決できるもの、これは難しい、いろいろ精査させていただいてまたご説明をさせていただきたいと思っております。こういう場をいろいろなところで持たせていただいています。どこへ行ってもなかなか厳しいご意見はいただいています。そうした中で我々がこれから対処していかなければならない課題を1つずつ解決できるもの、できないもの、いろいろあると思っておりますので、その整理をさせていただいて8月までに最終的な候補地を絞っていくということにさせてもらいたいと思っております。
- (住民) 学校の近くというのが許せんで、絶対に。
- (住民10) 東出の●●といいます。私は私的に来ているわけではなくて、東出を代表して来ていると思っております。なので、東出の意見をもう1回言わせていただきます。
- 全部で75軒あります。約250人ぐらいだと思っているのですが、公民館の前に断固反対の看板を立てさせていただいて2年、その意思は全く変わりません。まずそれをお伝えします。
- 2つ目ですが、やはり先ほどから話が出ている学校・保育園の近く、幼稚園の近くということが、これは絶対おかしなことやと思います。子どもたちや孫に遺恨を残すことは賛成できません。しかもこのあたりは農村地域でもあり、またきれいな地下水を使って、それをなりわいにしてはる方もあります。人間が作っているものですから、いくら安全ですとおっしゃられても、それは100%安全ではない。原子力発電の事故、あれを見れば一目瞭然です。そういうものがこの環境豊かな愛荘町に来るとするのは私はすごく許せない。
- 先週の土曜日は東出の子どもたちを集めてホテルの観察会をしました。その中で、昔はあまりホテルが出てこなかったけれど、みんなが力を合わせて環境を整えて水をきれいにして、それでまたたくさん出てくるようになったよという話も聞かせてもらったり、私もしました。そういう場所をごみ処理施設で損なっていくというのはできないと私は考えています。これは東出の総意です。
- 私が一番質問したかったのは、大久保市長が再選定の観点で3つおっしゃられて、地区や地権者の同意、書類の提出が1つ目、2つ目は説明会の状況、3つ目がアンケートとおっしゃいました。前回東出では、前のアンケートのときにはちゃんと名前も書くようにして意見を伝えましたが、今回無記名、しかもそのアンケートは圏域の成人男性、女性に関わらず全員に配られていない。抽出だと聞いています。だから私のところには来ていません。私は意見が述べられない。そういうアンケートを根拠にされるというのはすごく怒りを覚えます。しかもあのアンケートの中にはごみ処理施設があなたのところに来たときに賛成されますか、反対ですか、そういう項目はなかった。だから賛否を問うような質問はなか

ったと思います。それをもって、そういうアンケートの結果で再選定の判断に加えるというのはどうなのでしょう。アンケートをするなら全員だと思います。

繰り返しになりますが、東出区としましては、総意として断固反対をここで伝えておきます。

(住民 11) こんばんは。上蚊野の●●です。先ほどから皆様方いろいろとご意見を述べておられます。私どもも断固反対でこの場に寄せていただいております。

先ほどから車の搬入経路等のお話もありますけれども、まず建設のときに工事を行われる。そのときも大変な数の工事車両が行き来すると思われれます。その辺の計画が全然述べられておられない。

それと、先ほどから児童の通学路はどうなっているんだというお話もずっとありますけれども、私たち上蚊野は確かに建設地域から離れてはおりますが、児童がこの小さな集落で11人もおります。遠い道を毎日通学しています。そのときにたった1回でも事故が起きたら、その被害に遭われた人を見ると絶対にそういうことがあってはならない。そういう可能性があってはならない。そういうふうを考えます。断固反対します。

(住民 12) 岩倉の住民ですが、去年の6月に初めて寄せてもらいました。こんな大事な問題を新聞で見て初めてびっくりしてここへ寄せてもらったんです。それまで町にしても、このように言うてんけど、広報に1ページも1行もなかった。広報に載っていない。そんなことが新聞に載って、それで住民がびっくりしているような状態ですわ。そんな大事なことをね、わずかな、これ、9時で終わるとか言うてんけど、その間の時間、説明だけでどんだけ取ったんや。くだらない説明ばかり。初めての人がいるので。そんな話、みんなここへ聞きに来ているとは思わへんのや。建て前で言うてんの違うねん。本音なんや。

あのね、ダイオキシンの問題とか言うてはるけど、ダイオキシンなんか、そんなの今は機械がようになったとか、技術が向上したさかいにどうのこうの言うてんけど、こんなごみの中でダイオキシンが出るのは決まったもの。それは残留物でかなり多いんよ。それはね、あんたら、こんなこと言うと悪いけど、誰か責任取れる者あるか。これ、20年、30年たって。古くなるほど機械も故障するし、事故もあるんやし。例えばずっと昔に水俣病の問題でもそうです。富山県の神通川のイタイイタイ病にしても、初めは国自体が原因がわからん、わからんって隠して、最後結局水俣やったら石原産業ですか、あそこが出た。あれは神通川だったか、石原産業は。それで、水俣病を見ても工場廃液で出たわけです。それでもとことん突き詰められてやっと政府が認めて補償問題に関わった。そうしたらその問題は誰が、その当時の人が大丈夫や大丈夫や言うて、みんな死んではる。公共施設の建設でも。今のこの施設もそうや。誰か責任を取れるのか。取れへんやろう。取れんようなことを、そんなわずかな時間の中で決めてしまうということはおかしい。これはもっと住民にしっかり聞いてほしい。ちょっと管理者、愛荘町の町長、一遍その辺について答えてください。

(管理者) 建設に関しましては私が責任を持ってさせていただくつもりです。今もいろいろな施設、県内でも新しく作っていただいて、この間、近江八幡も作っていただきましたし、今度また東近江もやろうとしてくれてはりますけれども、きちんとした基準をさらに厳しくして、皆さんにご心配がかからないようにさせていただくということをお約束させていただきます。

- (住民) そんな問題が起こるときは、あんたらもういやへん。我々もいやへんで。
- (住民9) 蚊野の●●です。先ほど断固反対と言いました。それは子どもや孫の代に安心・安全な生活というのは絶対必要である。ごみ処理施設というのはやはりリスクを伴う施設です。だからさっきから安全、安全や、こういうことをやっているということを強調して言われるわけなんです。竹原候補地ですけれども、今候補になっているところのほぼ全域が土砂災害危険箇所、土石流の危険溪流に指定されています。大雨や台風等があったらまず一番に避難勧告が出される、そういう地域であります。
- さらに、鈴鹿西縁断層帯、特にその一部である常安寺断層帯が両脇を走っている。そういうような大変リスクがある土地です。何も無いときはともかく、今このような災害が多発している。熊本でもそう、東日本でもそうです。神戸でもそうです。確率が低いというところが、ああいう大きな被害が出ている。福島の子力発電、いまだに帰れない人がたくさんおられるじゃないですか。もし大きな地震が起こって、地下水なり、あるいは溜めてある灰、そういう有害物質が流れ出たときに取り返しのつかない、そういう問題が起こります。そういうようなリスクの高い、これはきちんとそちらの調査でも出ていますよね。そういうところをなぜ選ぶのか。そういうことがあります。
- 今、日本は災害の対策に向けて大きく取り組んでいる中で、こういうところに建てるということはやはり大きな問題である。そういうふうに思います。
- (管理者) 先ほど断層の話もされました。4つの候補地それぞれにご心配のような案件がございます。1つの候補地には断層、彦根断層というものがかかっている。あとの地域においても、浸水地域という懸念もあります。そうしたものも専門家の皆さんがそれぞれの地域で検証していただいて、直接それが建設に影響を及ぼすところにまでならないという見解をいただいているということだけご理解をいただきたい。
- 専門的にそれぞれの分野の方々が一応いろいろな資料を見て、現場に足を運んで検討をしていただいた結果、答申をいただいていますので、ご懸念の部分はもう少し詳しい資料がとおっしゃったならば我々も提供させていただきますので、ぜひそこはご理解をいただきたいと思います。
- (住民1) 1つだけ聞きたいんですけど、町長さん。先に甲良町とか彦根市は否決された。愛荘町はどうなんですか。この言葉が出てこんへんさかいに、愛荘町はみんな賛成したのかなと思って。議員さんが。それだけは最後に聞きたい。
- (有村町長) 愛荘町議会としては、意見書は特に出されていない。イコールその採決もされては、いらっしゃらないです。
- (住民1) 何で？
- (有村町長) これはあくまで意見書は行政側というか、例えば私からお願いしますというものではなくて、議会有志の中から出てくるものが意見書でございますので、私のほうからこれの採決をお願いしますという形ではならないかなと思います。愛荘町議会としては、そのような状況です。彦根と甲良のほうでは意見書が出されて、それは採決されているというところでございます。
- (住民) 賛成やな。
- (有村町長) それぞれ広域に出ている先生方、いろいろなことをお考えになっていらっしゃいます。

- (住民) まあ次の選挙のときもよう考えて。何人かは知っているけれど、賛成という人も。
(この後、「竹原は候補地として手を挙げたのか」、「それは区民の総意なのか」等について、参加住民同士で討論が続く)
- (事務局) すみません、運営がまずくて申し訳ないです。
ご意見をいただきまして、それを事務局で取り纏めますので、よろしくお願いいいたします。
- (住民 20) いろいろ竹原に対するご意見をいただきました。まるで竹原が悪者みたいな言い方をしていますわ。
- (住民) うん、そうや。
- (住民 20) 何で「そうや」なんですか。それではこのままごみをどないしはりますねん。ごみのことを考えていって、竹原でいろいろ協議をして、こういうふうな方法があるということ。
- (管理者) 建設をしていこうというのは広域行政組合ですので、ご意見は私どもが受け止めさせていただきます。いろいろなご意見をいただきましたけれど、その辺のところも受け止めさせていただいて、これから検討させていただきますので、そこはよろしくご理解のほどをいただきたいと思います。
- (住民 22) 東出の区民の●●と申します。私も以前、2年ぐらい前にかかなりこの問題については関わった者の一人として今日は2年ぶりに聞きに寄せていただきました。
今日、私が聞きに寄せていただいた目的は、愛荘町を含めて4つの地区が実名を挙げられたと。私も昼間ホームページを見まして、地図でどんなところかなというのを見てきたのですが、愛荘町の建設の予定地の状況というのはそれなりに把握しているのですが、残り3つ、ここの地区の状況が聞けるのかなと。その地区の周りの村、そういったところが我々と同じような考えを持っておられるのかどうか、そういったところを聞きたかったのですが、全くそれが無いので、2年前とあまり進展していない。前回の説明と同じような資料ですので、そこのところはどうなのでしょう。質問ですが。
- (管理者) 既に2カ所はさせていただいて、明日もう1カ所させていただきます。さまざまなご意見をいただいています。そうしたものは議事録として残しておりますし、閲覧いただけるようなことにはさせていただきます。
とにかく我々はいただいた意見をこれから検証させていただいて絞っていくという作業に移ってまいりますけれども、ご要請がありましたらそれは開示をいたしますので、よろしくお願いいいたします。
- (住民 22) 要請というのはどういう形をするのですか。
- (管理者) 私どもに言っていただいたら。ここの会議の様子はどうだったかとおっしゃっていただいたら。
- (住民 22) それは公開しないというふうに記載していますが、これ、すべての説明会が終わったら全部Q&Aは出してください。
- (管理者) 議事録は今作成中ですので、作成後、また公開をさせていただきます。
- (住民 22) 公開が終わったときにはまだ決定はしていないと。そういうタイミングでお願いしたいと思います。
- (管理者) わかりました。
- (事務局) ありがとうございます。お時間が少し過ぎてしまっているのですが、もしよろしければ、本日はこれで閉会させていただければと思っております。

(事務局) 本日お配りしております資料に、行政組合の連絡先も記載させていただいております。まだまだご意見を伺いたいというところではございますが、またこちらのほうでご意見をいただければ対応させていただきたいと思っておりますので、ここはこれで会を終わらせていただければと考えております。

では、閉会に当たりまして行政組合事務局長さんからご挨拶を申し上げます。

(事務局長) 皆さん、夜分お疲れのところ、本日は多数ご参加いただきましてありがとうございます。本日の説明にもございましたとおり、彦根市、愛知郡、犬上郡の1市4町の圏域におけます新ごみ処理施設の建設は必要不可欠でありまして、喫緊の課題でもございます。今回、建設候補地再選定への参加意向をお示しいただきました4自治会の皆様に感謝申し上げますとともに、周辺地域の皆様のご理解を今後もお願いしたいと考えております。

これからも4つの候補地周辺学区の住民の皆様を対象にしました住民説明会を開催いたしまして、広く地域住民の皆様のご意見等をお伺いしてまいりたいと考えております。

先ほど話にありましたように、合わせまして圏域住民の皆様 7000 人を対象にしました住民アンケートを6月に実施してまいります。本日ご参加いただきました皆様の中でアンケート用紙が届きました際にはご協力いただきますようお願いいたします。

本日は貴重なご意見、お考えをお聞かせいただき、ありがとうございます。今後は、賜りましたご意見、またアンケート結果、そして選定結果の報告書などを検討材料といたしまして、8月を目途に4つの候補地の中から最終的な建設候補地1カ所を決めてまいりたいと考えております。

今後も新ごみ処理施設建設に向けた取り組みにご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。以上をもちまして本日の説明会を終了させていただきたいと思っております。本当にありがとうございます。

以上